

TSK

仙台ダルク News Letter
Drug Addiction Rehabilitation Center



2024年 6月号

編集く仙台市指定グループホーム・仙台ダルクチェルキオ作業所く仙台ダルク
〒980-0011 仙台市青葉区上杉 2-1-26 URL <http://sendai-darc.org/>
TEL 022-261-5341 FAX 022-261-5340 Mail s-darc@jasmine.ocn.ne.jp

～ソフトボールとダルクフォーラム～

今日の仙台は曇り空。昨日までは梅雨前なのに、夏日の暑い日が続いた。梅雨入りがずいぶん遅れている。涼しいのはいいのだが、この曇り空や、ジメジメした生活は仲間たちの回復に影響が出なければいいと思う今日この頃。

6月22日、第三回仙台保護観察所所長杯ソフトボール大会がある。なんと、参加は2チーム！どちらかが勝てば優勝である（笑）。MVPも優勝カップも揃えた親睦的な大会だ。4～5年前、私からお声がけて実現したイベントである。それは、山梨ダルクが地域交流の一環で、山梨県警本部のチームと本格的なソフトボール大会を始め、今でも続けられているのだが、そのことをずっと関心をもって注目していたことがきっかけである。山梨は本格的に試合を進められるのに対し、仙台は「盗塁なし、フォアボールなし」のリラックスした大会がコンセプト（笑）。一番大切なことは、ゲームに勝つことではなく、みんなケガをしないことである！これは、私たちに行政、観察所が理解してくれている賜物であり、常日頃から感謝させてもらっている。いつも、ご協力ありがとうございます。（ちなみに、対戦は2勝0敗で仙台ダルクが勝っております。（笑））

来る8月31日（土）、仙台市福祉プラザにて27周年仙台ダルクフォーラムを開催する。テーマは「現在（きょう）はギフト～過去はヒストリー、未来はミステリー～」。観察所所長からご挨拶をいただき、仲間の体験談、支援をして頂いている方々からのメッセージ。今年は会場からの要請で音出しが禁止のため、日ごろプログラムで行っているヨガの先生にお願いして、会場の皆さんにも参加していただけるヨガのプログラムを用意している。是非皆さん、リラックスしてください♡そして、われらが、髭ゴジラこと（髭はありませんが）、茨城ダルクの岩井氏に「俺とダルクの30年、アディクトの家族と共に」というテーマで講演をしていただく。彼自身もアディクトであるが、仙台ダルクをはじめ、全国にたくさんのダルクを拡げていくまでの物語だ。そして、日本で最初の家族会、後に「やっかれん」に発展していく過程をじっくり丁寧に話していただくことになっている。ダルク創設者近藤恒夫さんが創り、岩井さんをはじめたくさんの仲間たちが全国に飛び回り、今のダルクに発展してきた。そこで岩井さんの尽力は多大なものであったと皆さんにも確認いただけるものだと思う。仙台ダルクフォーラムで、さりげなく大切にしてきた定禅寺通「珈楽多夢」の美味しい珈琲も淹れてお待ちしております。仙台ダルクの仲間たちがフォーラムを一生懸命創ります。その回復した元気な姿を皆さんに見ていただきたいと思っておりますので、奮って、奮って、ご参加いただけますよう宜しくお願いします。

仙台ダルク 飯室 勉

～大高森を登って～ ダン

ゴールデンウィークのはじめ、ダルクの仲間と一緒に奥松島の大高森に登りました。出発前にはみんなで手分けをして、いつものお弁当を作りました。おかずはからあげとたまごやき、そしておにぎりは鮭と明太子です。たまごやきを担当しましたが、巻くのが大変で何とか形にしました。

その日は快晴で、新緑と奥松島の海が青々として、絶好のハイキング日和でした。木漏れ日の中を仲間と話しをしながら歩くのは気持ちよく、はじめのうちは思ったよりもなだらかな道のりに登頂できるだろうかという出発時の心配は消えていました。

しかし途中から上りの階段が続いていくのを下から見上げて少しひるみましたが、休み休み登って予定どおり頂上に到着しました。

日本三景である松島は、昔から4か所の高台が眺望スポットとして数えられており、これを四大観といったようです。この大高森は、そのうち壮観と名付けられた眺めで、松島の島々と遠く塩釜方面まで一望でき、反対側には牡鹿半島が眺められました。

すばらしい眺めとともに、背中に背負っていたお弁当を下して、みんなで食べました。からあげもたまごやきもおいしく、おにぎりは大きくて食べ応えがありました。きれいな景色とおいしいお弁当でいうことなしです。登頂した達成感と満足感を味わいながら、おなかいっぱいお弁当を食べ下山しました。ちょっとおいしすぎて食べすぎた感がありますが…。

大高森は、標高103mで所要時間は20分というのが前情報で、初心者向けという感じでした。ただ、誰も登ったことがなかったので、みんな登頂できるかどうか心配があったようです。体調不良の人は登りませんでした。登った仲間はみんな無事登頂できたので、よかったです。

私自身は、この大高森に登るのは2回目です。この前は、8年ほど前のことだったでしょうか。そのときはまだ80半ばの祖母と一緒に登りました。その祖母も今は亡く、月日の流れを感じずにはいられませんが、仲間と登った壮観の眺めは、あの時と変わらず美しいままでした。

～大高森の思い出～ タクヤ

初めまして。仙台ダルクのタクヤです。例年ゴールデンウィークは天気が不安定になるものですが、今年は晴天続きで気温も上り、春を通り越して一気に夏を感じるほどでした。

4月29日、松島の大高森に散策へ行ってきました。朝から仲間達とワイワイお弁当作り。各自担当の調理を行なっている中、私は、ふと、母親の事を思い出しました。毎日、早起きをして美味しいお弁当を作ってくれた事を。学生時代は、昼のお弁当だけが楽しみでした（笑）。

大高森は奥松島と呼ばれる地域で、そこへそびえ立つ大高森。天気がいいと宮戸島を一望できる約100メートルの山。事前に山頂からの景色が素晴らしいのだと聞いていました。入口から「いざ絶景ポイントへ！」木漏れ日が気持ちよくマイナスイオンを全身で感じながら登って行くと、平坦な道から一変、勾配がキツイ階段・・・さらに階段・・・いったいどれだけ登るのだろうか？仲間と息を切らしながら歩いていると、なにやら開けた場所に。頂上に向かい、ふと横を見ると海の青さと景色が！さらに展望台からは松島湾に浮かぶ島々と海と空の鮮やかさ。さすが日本三景と呼ばれる松島！清々しい気分でいっぱいになったタイミングで仲間と作ったお弁当を食べた。登り切った達成感と流した汗も相まって、とても美味しく、お腹もいっぱいに。

なんだか、凄い長旅をしたような気分だが、登り下りで約1時間程度。普段運動をしてない私にとってはヒィヒィ言いながら登り切ったが、喧騒を離れ、全身で味わうことの出来る絶景と達成感を味わえた一日でした。

これから夏に向け気温も上がり、外でのプログラムも多くなってくると思われるので、食事のバランスを考える様になってきました。

今年の夏も暑くなると思うので、身体を大事にし、施設での生活を楽しんでいける様にしていきたいです。

今後の予定 2024年7月まで

- 6月20日(木)・・・山形高畠ライオンズクラブ主催中学校講演
- 6月21日(金)・・・東北会病院DOT、NAメッセージ
- 6月22日(土)・・・仙台保護観察所所長杯ソフトボール大会
- 6月25日(火)・・・仙台ダルクグループ理事会総会
- 6月27日(木)～29日(土)・・・北海道ダルクフォーラム
- 7月 1日(月)・・・石巻市立住吉中学校 講演
- 7月 3日10日17日24日(水)・・・宮城刑務所薬物乱用防止プログラム
- 7月 4日(木)・・・アディクションフォーラム21実行委員会
- 7月 4日(木)・・・宮城県精神保健福祉センターNICE スーパーバイザー
- 7月 5日(金)・・・岩手県立大学 講演
- 7月 5日(金)・・・仙台保護観察所身元引受人会
- 7月 8日(月)・・・仙台保護観察所ZOOM面接
- 7月10日(水)・・・仙台二華高等学校 講演
- 7月11日(木)～14日(日)・・・NA名古屋コンベンション
- 7月17日(水)・・・塩釜高等学校 講演
- 7月18日(木)・・・宮城県工業高等学校 講演
- 7月18日(木)・・・東北少年院 講演
- 7月21日(日)・・・茨城ダルクフォーラム



せんだい家族会のご案内

同じ問題を抱える家族の方へ、あなた自身の回復と成長のために
家族会ミーティングに参加してみませんか。

<p style="text-align: center;">2024年7月7日【日】 10:00～15:00 仙台市民活動サポートセンター 仙台市青葉区一番町4-1-3 会費：2000円 仙台ダルクグループ代表 飯室 勉</p>	<p style="text-align: center;">2022年7月16日【火】 19:00～20:30 仙台ダルク 仙台市青葉区上杉2-1-26 会費：200円</p>
<p style="text-align: center;">2024年8月4日【日】 10:00～15:00 仙台市民活動サポートセンター 仙台市青葉区一番町4-1-3 会費：2000円 東北会病院ソーシャルワーカー 鈴木 俊博氏</p>	<p style="text-align: center;">2022年8月20日【火】 19:00～20:30 仙台ダルク 仙台市青葉区上杉2-1-26 会費：200円</p>



献金・献品を賜りました皆様方へ心より感謝申し上げます。
恐れ入りますが敬称を省略いたします。(2023年12月～2024年5月分)
※ニューズレター発送簡略化の為、郵便振替用紙は全員に同封いたします。
尚、匿名希望の方は振込用紙にお書き添えください。



吉原美菜子 石橋安記子 阿部潔 長嶋治夫 西山やすまさ
岡本病院 くすりのおおくま 満勝寺 仙台北教会

その他匿名の皆様方

編集後記

夕映えはあんず色。

ここ20年来の楽曲はさっぱりわからない。この数年はさらに酷くなり、年末の某歌合戦の曲目ほとんどが知らないという始末。要するに老化した。しかし、私が老化しただけでなく、世間の流行が蛸壺化したことは、もはや定説だろう。

流行りを追いかける意思はまったくない。今回も共感を気にせず昔語りをしよう。70～80年代の頃のバラードが無性に聴きたくなる時があって、情念とか切なさとか儂さとか、バブル期以降日本社会が切り捨てようとしたものがまだ感じられるからだ。気休めは麻薬だけれど。鬱状態のとき寄り添ってくれたのは暗い曲だった。プレイリスト「懐メロ」で夏をあきらめてや、careless whisperとか、蘇える金狼のテーマなど、気持ちを鎮めるだけ鎮めて、次にコミックソングを聴く。気持ちの逆サウナ効果と名付けている。

この前、お笑いマンガ道場のテーマ曲に歌詞がついていたことを知った。題して「マンガはやっぱり楽しいね」。土曜日の14～15時頃を思い出す(宮城ではたしかその時間帯だった)。コンプライアンスなんて言葉がなく、漂白されていない時代に戻りたいと何度も思う。結局、ふたりの夏物語や真夜中のドアなんかのオシャレな曲でお兄さんお姉さん方がいい気になっていても、私の記憶には富永一朗と鈴木義司の罵り合いで爆笑していた記憶がついて回るのだ。全てがシリアスでも全てがふざけているわけでもないことを証明してくれる。土曜の昼下がりに腹抱えて笑っていたのは紛れもない事実だ。

結局、土曜のマンガ道場や火曜のドリフ大爆笑を肘枕で観ていた時が一番の幸福だったなあ。往年の彼らには到底敵わないけれども、せめて笑える時間が長くなるよう現在に戻って励みますか。



プレイボール

編集者 仙台ダルク

〒980-0011 仙台市青葉区上杉 2-1-26

TEL 022-261-5341 FAX 022-261-5340

URL <http://sendai-darc.org/>

Mail s-darc@jasmine.ocn.ne.jp

発行所 東北障害者団体定期刊行物協会

〒980-0874 仙台市青葉区角五郎 1-12-6

頒価 100円